

# 平成 26 年度活動記録

平成 27 年 4 月

特定非営利活動法人ドゥチュウブ

## 活動内容

当 NPO は、愛知県、岐阜県、三重県、加えて静岡県、長野県の一部を含むエリアを対象に、地域情報の利用向上と市民活動の情報化、交流を支援するため、インターネットメディア活用技術の普及、情報発信のレポーター養成など、社会活動における情報化推進に関する事業を行っている。

地域の意識向上、情報共有、交流(人、物が動く)を支援するとともに、市民へ届く公共的情報の提供、信頼できる地域メディアの創生などを通じ、地域社会の利益の増進に寄与することを目的に、本法人の定款第 5 条の事業として、下記の事業を実施している。

- ① 情報連携支援事業
- ② 地域コミュニティ活動支援事業
- ③ ウェブライター育成事業
- ④ その他附帯する事業

## 運用中のサイト

○DoChubu ポータルサイト <http://dochubu.com/>



みつめる、つながる。中部の暮らし <http://info.dochubu.com/>

o マップサービス <http://community.dochubu.com/site/mapservice/>

**サービス内容**

マップを利用した地域情報の発信及び共有をお手伝いいたします。情報のマップ化はインターネット技術により手軽にかつ便利になりました。身近な情報をデジタルマップ化することで、地域の知識・経験の共有及び蓄積が可能となります。マップ情報を重ね合わせておくことで、地域の見方がこれまでと変わり、新しい「つながり(関係)」を見えます。

**(1) マップ作成支援**

例えば「防災マップ作り」では、町域から、ワークショップ開催、デジタルマップ作成、印刷などの一貫した支援を行います。マップ作成講習会も実施しております。  
※ 防災マップを作りませんか (pdf)

**(2) マップ維持管理**

作成したデジタルマップをインターネットで維持管理いたします。利用グループごと(パスワード)を発行いたします。年間を通しての情報伝達・閲覧、データの維持管理が可能です。操作方法、マップ作成に関するお問い合わせ(電話、メールなど)に対応いたします。  
※ マップ作成ソフトとしては以下を利用しています。  
(財)防災科学技術研究所 edimコミュニティプラットフォーム2.0 (オープンソースソフト)

**(3) マップ印刷サービス**

マップを印刷してお届けするサービスです。用紙サイズはA4～A0までを基本としています。  
※ サービスエリアは愛知県・岐阜県・三重県を基本としています。遠隔地の場合は、別途交通費(実費)を申し受けます。

**リンク**

- つなごうマップ研究会
- 豊特字区連絡協議会
- 豊田市史料協会
- 豊田駅前リバーサイドマップ
- 徳州大学農学研究室
- 名古屋経済大学農学研究室
- 愛知県小牧小学校

**会員向けサービス**

- マップサービス

○DoChubu facebook ページ <https://www.facebook.com/DoChubu>

○地域情報 facebook ページ <https://www.facebook.com/dochubulocalinfo>



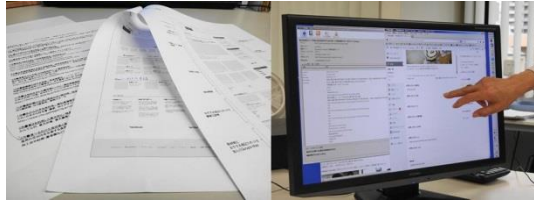
## 《自主研修活動》

- ① 地域情報研究会
- ② つながるマップ研究会(2か月に1回)

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年4月3日

場所/団体:ゼブラビル



DoChubu サイトの来週 10 日リニューアル公開を目指し、昨日 3 日は事務局でデザインや入力部を最終確認。お披露目までもう少しお時間を下さいね。なお、リニューアル後も現行サイトはしばらくの間、次期サイトと並行運用します。

今後の日程です。

☆勉強会 or 地域情報研究会:11 日(金)16 時～

★つながるマップ研究会:18 日(金)15 時～

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年4月11日

場所/団体:DoChubu サイト



皆さん！ついに DoChubu 新サイトのオープンです！！

今回のリニューアルでは、従来サイト『地産地消のすすめ』と『つながるマップ』を統合し、もっと DoChubuらしい切り口で地域情報へ迫ろうと考えています。また、地域情報を面的に発信する試みにも挑戦中です。

新サイトをご覧になったの印象、感想などを頂けるとうれしく思います。

<http://info.dochubu.com/>

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年4月11日

場所/団体:地域情報研究会

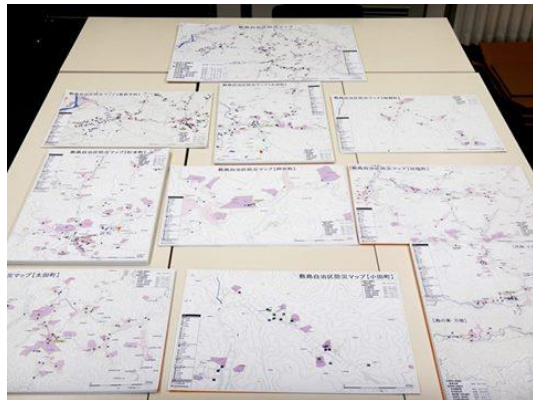


新サイトをリニューアルして初の研究会、『DoChubu 地域情報研究会(仮称)』が先週11日に開かれました。今回のテーマは“新サイトへの記事投稿の方法”。講師はアイデアクラウド社の上戸さん、中田さんお二人です。Web記事の管理は主に編集部が担うものの、投稿などはライターさんも関わっていくため、操作に慣れる時間がまだ必要そうですね。

## B. つながるマップ

日にち:2014年4月21日

場所/団体:ゼブラビル



豊田市内自治区の防災マップ作り支援は、H25年度で2年目を終わりました。今回はH24年度と同じく3自治区をフルサポートです。このうち敷島自治区は

A2サイズ/PP加工(町内会毎に全戸配布)

A1サイズ/厚手マット紙

を、17日に現地で納品しています。A2サイズを100部単位で印刷したのは初めてでしたが、戸建て向けはともかく、集合住宅には大き過ぎるかも。



## B. つながるマップ

日にち:2014年4月18日

場所/団体:つながるマップ研究会



つながるマップ研究会 2014 年は、連携団体などを巡業的に回って開催と考えていたものの、参加者が多くなった先週 18 日の研究会は急きょ貸会議室です。今回の講師は

廣内先生(信州大学)/安藤理事(NPO 法人 Lisra)

e コミマップの派生サービス紹介が下記の各氏。

伊藤氏(当 NPO 理事)/小林氏(エーアイシステムサービス)

次回テーマは“e コミマップにいま何が必要か?”で準備を進めます

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年5月2日

場所/団体:地域情報研究会



お気づきになった方も多いかもかもしれませんが、兄弟ページ「DoChubu 地域情報 facebook ページ」を設けています。掲載コンセプトなどが固まるまでには、もう少し時間かかるでしょう。

いま見て頂いている DoChubu facebook ページ共々、よろしくお願ひします。

<https://www.facebook.com/dochubulocalinfo>

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年5月15日

場所/団体:DoChubu サイト



4月にリニューアルしたDoChubuサイト『みつける、つながる。中部の暮らし』。今回のリニューアルでは、記事本文の上にfacebook“いいね！”ボタンと、twitter“ツイート”ボタンを配置しています。関心を持つ記事がありましたら、ボタンを押してみてください。皆さんの一押しで人がDo=動きかけになることを、私たちは願っています。

## C. 全体・その他

日にち:2014年5月23日

場所/団体:総会・地域情報研究会



4月に第4期がスタートした当NPOは、23日に第3回通常総会を開催しました。主な議題は下記の通り。

- (1) 第3期事業報告と収支決算について
- (2) 第4期事業計画と活動予算について

総会に先立ち、新設した勉強会『地域情報研究会』も開き、アイデアクラウド社の田中・上戸両氏によるフリーの画像処理ソフト使い方、写真撮影が上手くなる 着目点を解説してもらっています。撮影テクニックに関連し、クロス(布)を商品の下に敷けば被写体が引き立つなど、お役立ちグッズご指南は今すぐ役立ちそうですね。



## B. つながるマップ

日にち:2014年5月25日

場所/団体:竹鼻南コミュニティセンター



羽島市竹鼻南コミュニティセンターは、毎年5月下旬に防災訓練を開催されています。今年は、25日(日)に開催され、例年通り1000名以上が参加する大規模な訓練になりました。

そのなかで、DoChubu が支援して同コミセンが作成したマップを紹介するコーナーを荒川が担当しました。ひとつ目は、地域の皆さんが決めた「第一避難所(いつとき避難所のこと)」のマップ。ふたつ目は、昭和51年に起きた水害を若い人たちに伝えるための「51年災害をつたえるマップ」。皆さんの真剣なまなざしが印象的でした。

## B. つながるマップ

日にち:2014年6月2日

場所/団体:常磐東小学校



昨年に続き岡崎市立常磐東小学校の防災マップ作り支援は、愛知工業大学地域防災研究センターと共同で始まっています。梅雨入り前の暑さが収まらない2日、私たちは愛工大の正木先生・小池先生やセンター研究員と小学校を訪ね、『地域と主に歩む防災学習(6年生)』を授業参観しました。

この日の課題は“今年さらに追及する、防災学習のクラステーマを話し合おう”。そして浮かんだテーマは(自然災害、特に土砂災害から)地域の人たちを守る防災マップ作り。これに応えるべく地域の大人側も、総代さんはじめ一緒に関わっていく予定です。

## B. つながるマップ

日にち:2014年6月6日

場所/団体:つながるマップ研究会



次回の《つながるマップ研究会》をお知らせします。

日時:6月20日(金)15:00-18:00

場所:株式会社アイ.エム.ワイ. 貸会議室※千種駅より徒歩2分

講師1:田口仁氏(防災科学技術研究所)「eコミマップ開発状況と今後の計画」

講師2:小穴久仁(DoChubu事務局)「eコミマップを初めて使う住民の声」

情報会員向けですが、非会員の見学も歓迎します。

## B. つながるマップ

日にち:2014年6月9日

場所/団体:ファルコン



昨日9日は情報会員の日下部さん・山口さん(緑陽コミュニティ)、早川さん(星崎学区連絡協議会)が訪ねてこられ、ざつぱらんに意見交換しています。

緑陽コミュニティからは配布中の防災マニュアルを頂きました。防災マニュアルは完成したばかりの防災マップをはじめ、地史や非常態勢、伊勢湾台風の被害写真などが20ポケットのクリアファイルにまとめられています。

P.S. テーブル中央にある『でこたんようかん』は、週末の南伊勢町取材でのお土産です。

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年6月11日

場所/団体:DoChubu サイト



DoChubu サイト『みつける、つながる。中部の暮らし』の6月特集第一回目をアップしました。今月のテーマは「長良川の恵みと岐阜の町」。清流長良川が育んだ岐阜の暮らしに注目し、さまざまな物語を紹介していきます。今回の記事は「川に寄り添い生きる、長良川の漁師たち」。ぜひご覧になってください！ <http://info.dochubu.com/>

## B. つながるマップ

日にち:2014年6月20日

場所/団体:つながるマップ研究会



東海地方は梅雨入りしたものの、雨はあまり降っていません。週間予報を見ても雨マークは少ないですね。さて、20日のつながるマップ研究会は

講師 1: 田口 仁 氏(防災科学技術研究所)

「e コミマップ開発状況と今後の計画/第5回防災コンテストについて」

講師 2: 小穴 久仁 (DoChubu 事務局)

「e コミマップのこれが出来たら嬉しい—e コミマップを初めて使う住民の声—」

に加え、緑陽コミュニティ(日下部氏・山口氏)の防災マニュアル、後世に伝える伊勢湾台風写真集の披露も。写真は地域防災を実践するステップを紹介中の田口さん。防災コンテスト開催案内は下記 URL です！

<http://bosai-contest.jp/>

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年7月2日

場所/団体:DoChubu サイト



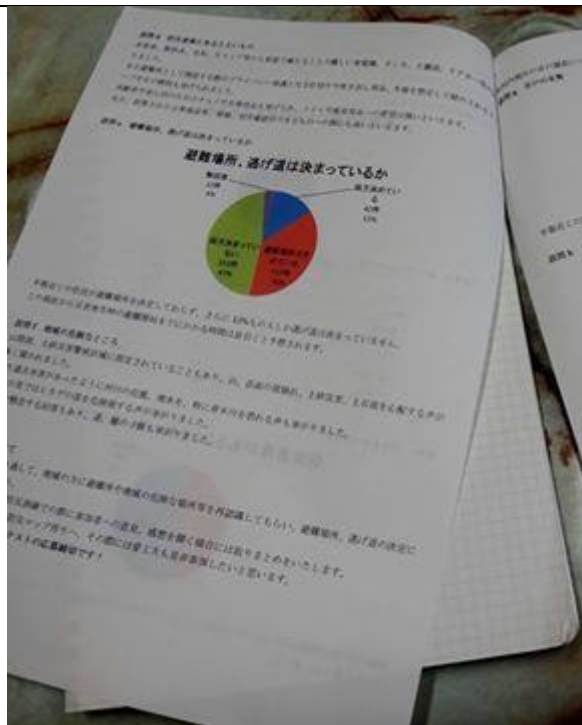
DoChubu ポータルサイト、6月特集がすべて公開となりました。長良川に育まれた岐阜のまちの魅力を、さまざまな角度からご紹介しています。川漁師記事に続く第3回目は、「長良川の水から生まれたおいしいもの」。第4回目は注目の地域活性化イベント「長良川おんぱく」。岐阜はいろいろな取り組みが生まれている、注目の地域です。ぜひご覧になってください！

[http://info.dochubu.com/2014/06/30/tokusyu1406\\_004/](http://info.dochubu.com/2014/06/30/tokusyu1406_004/)

## B. つながるマップ

日にち:2014年7月17日

場所/団体:常磐東小学校



皆さん、ご無沙汰しておりました。半月ぶりの投稿です。昨日17日は常磐東小学校で小学校の先生、愛工大の先生と学生、近隣の方々と防災学習の発表会などに関し打合せています。発表会の材料となるアンケート結果は、学区の全世帯を対象として6月に行い、324世帯の回答をまとめた速報です。この日は常磐東小学校の防災コンテストへのエントリーも済ませています。

A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年7月18日

場所/団体:DoChubu サイト



DoChubu7月特集が公開となっています。

今月のテーマは、三重県南伊勢町。伊勢市の南隣にあり、リアス式海岸の五ヶ所湾を臨む風光明媚な海の町です。漁獲量は三重県第一位。近年、マグロや鯛の養殖で注目を集めています。みかんなど山の幸も豊富。自然の恵み豊かなこの町の魅力をご紹介します。

順次公開していくので、こまめにチェックしてご覧くださいね！

レギュラーの「ライターズアイ」「郷土食の旅」もぜひ！

[http://info.dochubu.com/2014/07/16/tokusyu1407\\_002/](http://info.dochubu.com/2014/07/16/tokusyu1407_002/)

A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年7月23日

場所/団体:JA 猿投営農センター



豊田市特集(8月)に向け取材中の編集部は、20日の『スイーツフェア』取材を皮切りに、豊田市内を取材で通っています。

23日の取材は猿投営農センター選果場など。このラインは果物の大きさと糖度を自動選別でき、設定を変えることで桃・梨・柿いずれにも対応できます。今は西瓜の出荷が終わり、桃は白鳳のピーク。

選果場横の直売所で買った規格外の白鳳は、とっても甘く絶品でしたよ。



## B. つながるマップ

日にち:2014年7月30日

場所/団体:緑陽コミュニティ



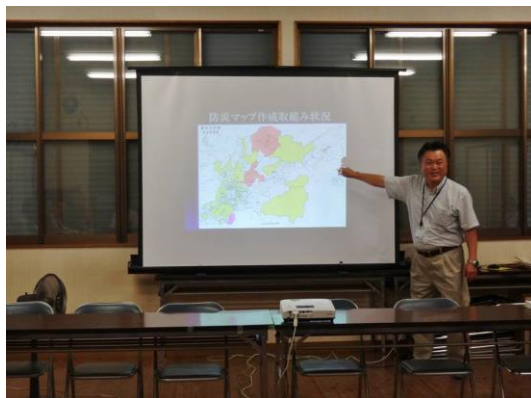
東海地方は梅雨明け直後、先週の猛暑が少し緩んだ感です。

第4回 e 防災マップコンテストで最優秀賞に輝いた緑陽コミュニティ(東海市)からマップ作りの支援に対し、当NPOと星崎学区連絡協議会は感謝状を頂きました。緑陽コミュニティの皆さん、改めておめでとうございます！さて、第5回防災コンテストの募集が始まっています。応募はちょっと・・・と考える方、“軽い気持ち”の申込でも差支えございません。

## B. つながるマップ

日にち:2014年8月13日

場所/団体:冷田自治区



今年度も豊田市の防災マップ作り支援が始まり、昨日12日は冷田自治区の講習会初回が開かれました。ここは旧足助町内で、会場の集会所周辺は標高400m前後。夕方に着くともうヒグラシが鳴いています。講習会は市役所防災対策課の原田さん(写真)に続き、事務局の小穴がマップ作りの進め方や事例紹介です。

今年度の豊田市内はもう2~3自治区、自主防災会の防災マップ作り支援を予定しています。



## B. つながるマップ

日にち:2014年8月13日

場所/団体:つながるマップ研究会



次回の《つながるマップ研究会》をお知らせします。

日時:8月20日(水)15:00-18:00

場所:株式会社アイ.エム.ワイ. 貸会議室

※千種駅より徒歩2分

講師:久田錠治氏(AED日本振興協会)

<http://www.aed-jp.com/>

「AEDの利用促進に地図をどう活用すべきか」

※情報会員向けなもの、非会員の見学も歓迎です。

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年8月19日

場所/団体:名古屋調理師専門学校



昨年に続き、当NPOは“愛フェス”へ『DoChubu 食堂 with 名調』を出店します。

この準備に向け、昨日19日はメニュー看板用の写真撮影も兼ねた名古屋調理師専門学校での試作、試食へ伺いました。昨日は愛フェス学生部会から鶴飼さんもご同行。

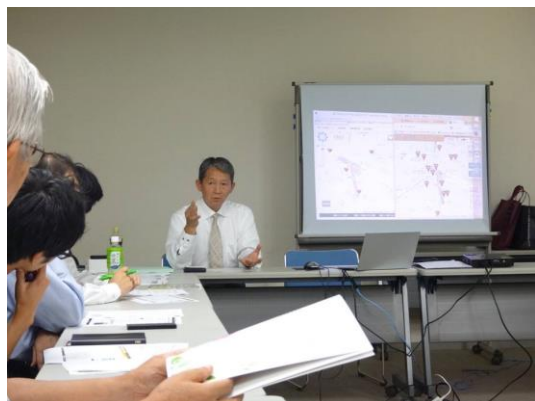
メニューは昨年に比べ地産地消の色が一段と強まり、旬の食材も多く取り入れています。

愛フェスは来月13日(土)・14日(日)、お楽しみに！

## B. つながるマップ

日にち:2014年8月20日

場所/団体:つながるマップ研究会



2ヶ月ごとに開くつながるマップ研究会。今月20日はAED日本振興協会から久田錠治氏をお招きし、意見交換の場を設けました。

久田氏によれば、日本の1人当たりAED普及数は世界トップクラス。しかし、その設置場所は施錠された建物だったり工場の敷地だったりして、24時間365日使えないものが非常に多いのだそう。また、出席者からはAEDの講習会を消防署で受けているが、消耗品交換の維持費用などが色々生じる点まで説明のない講習会は、片手落ちではないかとの声も出ました。

AED日本振興協会ではAED管理士と呼ぶ資格制度を持っており、この方々とeコミマップによるAED設置場所のソーシャルマッピングが、将来できそうと感じています。

## B. つながるマップ

日にち:2014年8月23日・24日

場所/団体:五ヶ丘第四自治区・明和自治区



大気不安定な状態が続いた週末は、豊田市の五ヶ丘第四自治区(上;23日)と明和自治区(下;24日)で、防災マップ作り支援の講習会初回でした。両自治区とも質疑応答は住民同士を含め発言が多く、順調なスタートです。

## B. つながるマップ

日にち:2014年8月26日

場所/団体:常磐東小学校



今年度の岡崎市地域総合防災訓練(8月31日)会場は、防災マップ作り支援が始まってちょうど1年の常磐東小学校です。当日は広報訓練から始まり、6年生の防災学習発表会はシェイクアウト後。今週、この発表会へ向けた練習は大詰めとなり、私たちも26日に参加し原稿やスライド資料を確認しています。

31日の防災訓練は6:30~9:00頃にかけて。見学ご希望の方がいらっしゃれば、予め当NPO事務局へお知らせ下さい。

## B. つながるマップ

日にち:2014年8月31日

場所/団体:常磐東小学校



常磐東小学校を会場とした8月31日の岡崎市地域総合防災訓練では、体育館いっぱいの参加者を前に、6年生の防災学習発表が行われています。

夏休み期間中で十分な練習が出来なかったかもしれませんが、彼ら自身が見て調べまとめた内容だけあって、堂々と立派な発表でした。地域の方々はどう感じたでしょうか。

生徒発の防災マップ作りが地域を動かす！これが常磐東小で沸き起こっています。

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年9月9日

場所/団体:名古屋調理師専門学校



以前にもお知らせしましたが、今週末の9月13日(土)14日(日)、当NPOは今年も「愛フェス2014」に「DoChubu 食堂」を出展します。

中部地方の食材を使ったおいしい“地産地消”メニューを提供する、楽しい食堂です。コラボする名古屋調理師専門学校さんでのメニュー試作会の様子を、ポータルサイトで紹介しています。

記事をぜひご覧いただき、週末はモリコロパークへ食べにいらしてください！お待ちしております！

[http://info.dochubu.com/2014/09/08/eye1309\\_001/](http://info.dochubu.com/2014/09/08/eye1309_001/)

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年9月12日

場所/団体:名古屋調理師専門学校



日中の暑さは残るものの、猛暑の頃と比べ、空が高く感じませんか？

明日は愛フェス 2014 の初日。私たちはレンタル機材の受取りや名調での調理器具受渡し、会場設営などに走り回っていました。食堂レイアウトの目途がつき、飾り付けは明朝。11時の開店で皆さんをお待ちしています。

スタッフは青いエプロンを着ています。お気軽にお声掛け下さいね。



A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年9月13日

場所/団体:モリコロパーク



おはようございます。今日は連休中日、愛フェス会場は透き通るような青空が広がっていますよ。愛フェス初日の DoChubu 食堂へのご来店、本当にありがとうございました。昨日の名調の皆さん(学生10名、先生4名)はこのような笑顔のメンバー。本日もご来店お待ちしております！

A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年9月14日

場所/団体:モリコロパーク



愛フェス2014最終日の DoChubu 食堂 with 名古屋調理師専門学校は、初日以上に多くのご来店を頂き無事閉店を迎えています。

料理のお味やスタッフの接客はいかがでしたか？

また DoChubu 食堂でお会いしたいと思います。

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2014年9月18日

場所/団体:DoChubu サイト



DoChubu 特集が公開となりました。

9月は、岐阜県美濃市の伝統工芸・美濃和紙に注目！

「美濃和紙の伝統と今」をテーマに、「手漉き和紙職人」「あかりアート展」の2記事を公開中です。

1300年の歴史を持つ美濃和紙。

現代にその伝統を受けつぎ、今後へとつなげていく、美濃の町の人々の物語をお伝えします。

今月後半は、和紙ショップや製紙メーカーもご紹介しますので楽しみに！

## B. つながるマップ

日にち:2014年10月15日

場所/団体:つながるマップ研究会



次回の《つながるマップ研究会》をお知らせします。

日時:10月20日(月)15:00-18:00

場所:株式会社アイ.エム.ワイ. 貸会議室

※千種駅より徒歩2分

講師:陶町明日に向かって街づくり推進協議会(瑞浪市)

<http://suechou.com/>

ほか調整中

※情報会員向けなもの、非会員の見学も歓迎です。



## B. つながるマップ

日にち:2014年9月27日

場所/団体:愛知工業大学



愛工大地域防災研究センターとの常磐東小学校区防災マップ作り支援は、地域の住民によるマップ作りに発展しています。9月末にはeコミマップ操作説明会を地域防災研究センターで開きました。防災コンテスト応募に向けた準備も、小学校と地域が一つの目標として準備中です。さて、愛工大地域防災研究センターと当NPOは、南知多町の防災リーダー育成講座1日目を担当します。※見学をご希望される方は、予めお知らせ下さい。

## B. つながるマップ

日にち:2014年10月18日

場所/団体:南知多町役場



南知多町の地域防災リーダー養成講座(10月18日)は、午前中の愛工大地域防災研究センター小池准教授と倉橋客員講師に続き、午後は『防災マップ作り体験』を開きました。3時間と限られた時間のため“まち歩き”こそ行いませんでしたが、ホワイトボードを使う項目リストアップやeコミマップへ情報登録の後、チーム毎に発表してもらっています。

## B. つながるマップ

日にち:2014年10月20日

場所/団体:つながるマップ研究会



20日のつながるマップ研究会は、ゲスト講師へ陶町明日に向かって街づくり推進協議会(瑞浪市)をお呼びしています。講演タイトルは「安心・安全に暮らせるために、地域福祉を含めた防災対策—災害時要援護者セイフティネットプロジェクト—」。限られた人手で要援護者をどうケアしたら良いかが話題の中心でした。

今回は DoTohoku から猪俣氏、神氏も参加されています。マップ作りや地域活性化のヒントはありましたか？

## B. つながるマップ

日にち:2014年10月26日

場所/団体:五ヶ丘第四自治区



今年度の防災マップ作りを支援する豊田市内 3 自治区のうち、五ヶ丘第四自治区のまち歩きが、26日に小学生も7名参加し行われました。この日は集会所に集合後、小学校で避難所開設班の市職員から小学校防災倉庫や体育館を見学させてもらい、3グループに分かれたまち歩きは約1時間半。最後は各グループによる簡単な発表です。

自治区長の榎さんは「会合では発言が何もないけれど、皆で歩くと防災に限らず色々な声が集まり、本当に良い機会だ」と、まち歩きの感想を述べていらっしゃいます。

## B. つながるマップ

日にち:2014年11月29日

場所/団体:東長良中学校



東長良中学校一年「自己創生の日」に、自分達の住む長良地区の防災マップ作り

11月29日(土)、小雨の中、小宅先生と1年6組33名、保護者の方々と東長良中学校周辺でまち歩き、防災マップ作りを行いました。東長良中学校は、岐阜市の長良橋の近くに位置しています。長良川にかかる長良橋付近では昔から洪水が多発しています。そのため同中学校では防災学習を積極的に進めてきています。今回は座学ではなく、担任の小宅先生の発案で実際に町に出て考える方法をとりたい、ということで当NPOが支援することになりました。

DoChubuメンバー4名と岐阜聖徳学園大学の森田先生、学生さん(3名)合計8名がサポートで参加。今回は4班(約8名毎)に分けて、各班に調査エリア、テーマを設定しました。

- 1班 …洪水を防ぐ水門調査、避難所チェック(計画ルート1)
- 2班 …過去の水害場所調査、避難所チェック(計画ルート2)
- 3班 …土砂災害危険地調査、避難所チェック(計画ルート3)
- 4班 …高齢者避難路調査、避難所チェック(計画ルート4)

9時半、まち歩きスタート、調査エリアまで片道15分、調査時間1時間というハードなスケジュールにもかかわらず、地元の生徒さん、保護者の方の先導で手際よくまち歩きができました。学校に戻り、紙地図の上に情報を記述、写真を添付、発表会まででぎわよく午前中に終えることができました。



B. つながるマップ

日にち:2014年12月8日

場所/団体:長野市信里小学校



長野市信里小学校で全校生徒(65名)が参加して、安全マップ作りが行われました。今回は生徒さんが自宅周辺の情報を持ち寄った形です。親御さんも調査に協力してくれました。このプロジェクトには長野市教育委員会、信州大学廣内研究室の廣内教授、学生さんが協力しています。DoChubu は長野県教育委員会からアドバイザーを委嘱され支援しました。

第2824号 2014年(平成26年)11月1日(土)

長野市民新聞

(火・木・土発行 月720円) (平成8年7月26日第三種郵便物認可)

### 危険箇所や設備情報

# 信里小児童が地域防災マップ

## 電子化で共有目指す

### 親や住民と連携し作成へ

### 長野市民新聞

11月1日(土)

長野市民新聞社  
編集制作センター  
〒240-0203 長野市信里町129-1  
アリーナビル  
0260-045511  
TEL 223-5511 FAX 223-5500  
shimaminiwa.co.jp

長野支社  
〒244-0807 長野市八木島町1205-3  
TEL 229-5588 FAX 229-5677  
minami@shimaminiwa.co.jp  
shimaminiwa.or.jp

信州新聞社 2014

信里小学校(信里町)校長、児童数68人。11月1日、防犯の「電子化」を推進する。児童が自宅周辺の危険箇所や設備情報を提供し、地域防災マップを作成する。このマップは、児童が自宅周辺の危険箇所や設備情報を提供し、地域防災マップを作成する。このマップは、児童が自宅周辺の危険箇所や設備情報を提供し、地域防災マップを作成する。

信里地区は過去に茶臼山火災や、11月1日の地震など、大きな災害に見舞われてきた。児童が自宅周辺の危険箇所や設備情報を提供し、地域防災マップを作成する。このマップは、児童が自宅周辺の危険箇所や設備情報を提供し、地域防災マップを作成する。

## B. つながるマップ

日にち:2014年12月5日

場所/団体:つながるマップ研究会



ご無沙汰しています。今冬は暖冬傾向が発表されたとは言え、さすがに寒い12月入りですね。私たちは今年も『防災コンテスト(主催:防災科学技術研究所)』の応募を支援しており、先日この締切が12月26日と発表されました。応募団体の準備は佳境に入っており、この準備こそ地域防災力UPのポイントです。余談ですが、マップ等の画面を大きく見たい時にプロジェクターで投影できなくても、48インチや32インチの液晶テレビで代用できることに気がきました(下の写真)。

## B. つながるマップ

日にち:2014年12月18日

場所/団体:つながるマップ研究会



2014年最後のつながるマップ研究会(12月18日)は、森田匡俊氏(岐阜聖徳学園大学)をゲスト講師にお招きし、某企業従業員住所・海水浴客(さくら)・漁船の実データで解析した結果と、みえてきた課題の報告です。

研究会後は簡単な忘年会で、1年を締めくくっております。

## A. みつける、つながる。中部の暮らし

日にち:2015年1月7日

場所/団体:DoChubu サイト



こんにちは！2015年のスタートから一週間経ちましたが、いかがお過ごしでしょうか？

新年はまず、DoChubu サイトのリニューアル公開を控えており、ダミー記事や写真で最終確認を行っています。ご期待ください！またeコミマップはバージョン2.3→2.4への切り替えを進めています。この他に役員の任期更新など、体制リフレッシュも予定事項です。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## B. つながるマップ

日にち:2015年1月15日

場所/団体:常磐東小学校



常磐東小学校がある岡崎市米河内町の防災マップ作り支援は、本日15日、岡崎市から返ってきた校正原稿の意見交換を小学校で行いました。美術の先生も交えた内容は総代さんが集約し早速明日、市役所で打合せとのことでした。

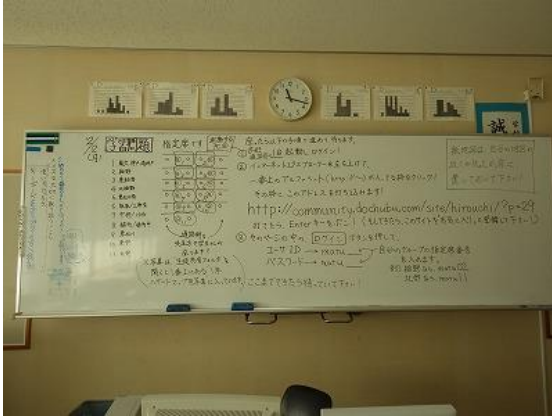
途中、6年生のクラス代表2人が「防災コンテストの応募、ご協力ありがとうございます」と、挨拶にいらっしやいました。関わった全員がコンテストの審査結果を期待していますが、どうでしょうか～



## B. つながるマップ

日にち:2015年2月4日

場所/団体:長野県松川村中学校



長野県松川村中学校1年生が先デジタルアップ化しました。信州大学廣内研究室の廣内教授、学生さんが協力しています。DoChubu 古瀬がはまずマップの作り方など説明、そのあと生徒さん選抜チームに、地区毎の入力作業を行ってもらいました。

この結果は3月11日に保護者らを前に発表したとのことです。

(次ページ)

# ハザードマップを発表

## 松川中1年の防災学習

松川村の松川中学校（河手密校長）1年生99人はこのほど、総合的な学習の時間を使った防災学習「子ども目線でのハザードマップづくり」の発表会をすずの音ホールで開いた。保護者を前に、学習の成果を発表した。

発表会では、スライドを使って、各地区の危険箇所を紹介し、災害が起こりやすい場所や見通しが悪い場所などを指摘した。阪神淡路大震災の被害状況などを調べた生徒らは、「心のケアが必要。風化の防止が課題」などと話した。火山や水害の歴史と要因、村の災害史や防災についてもまとめ、問題意識を高めていた。

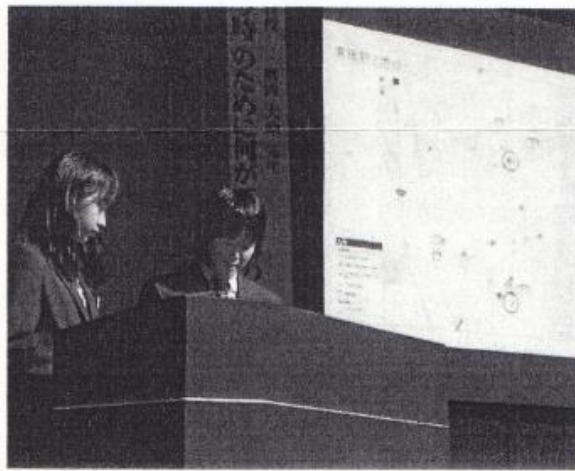
子ども目線で危険箇所を調べ、地図化した。3つのグループ別に、地図をインターネット

上に電子化する作業や日本の災害について調べてまとめる作業を行った。発表会では、スライドを使って、各地区の危険箇所を紹介し、災害が起こりやすい場所や見通しが悪い場所などを指摘した。阪神淡路大震災の被害状況などを調べた生徒らは、「心のケアが必要。風化の防止が課題」などと話した。火山や水害の歴史と要因、村の災害史や防災についてもまとめ、問題意識を高めていた。

同学習は県の実践的防災教育支援事業の一環で、信州大学の協力を得た。学習に携わった信州大学教育学部の

廣内大助教授が、「いざという時のために何ができるのか？」の講演を行った。身近な地域の災害の実態や東日本大震災の教訓などに触れ、「自分の命は自分で守ること。ちゃんと考えて行動できること。そのために想像し、練習することが大事」と伝えた。

同校では、ハザードマップをさらに充実させ、紙面かネット上で発信したいとしている。模造紙にまとめた



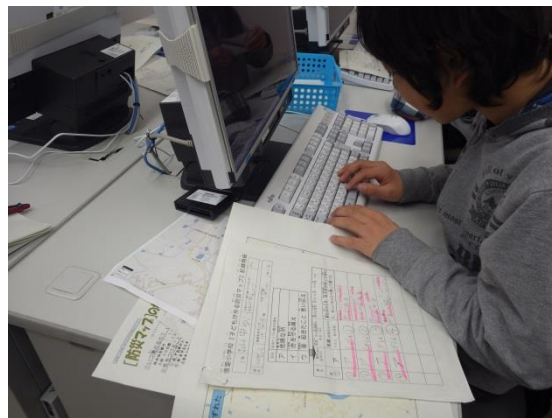
学習の成果を発表する生徒たち

せ、紙面かネット上で発信したいとしている。模造紙にまとめた学習の成果は、19日まで同ホールに展示している。

## B. つながるマップ

日にち:2015年2月16-17日

場所/団体:長野市信里小学校



長野市信里小学校で全校生徒で作成した防災マップのデータを5年生(10名)、6年生(10名)がe コミマップでデジタルしました。マップ化について、信州大学廣内研究室の廣内教授、学生さんが協力しています。

DoChubu がマップの作り方などを説明、そのあ生徒さんに地区毎の入力作業と約1時間の授業でした。最後は廣内教授の講評で終わりました。

この取り組みは、長野県でも先駆的なもののように、マスコミが取材に来ていました。次ページに記事



2015/2/19

# 電子防災マップ作成

## 信里小学校の5、6年生

インターネット活用

### 危険箇所など入力

地域の防災マップ作りを進めている信里小学校で16、17日の2日間、5、6年生計20人が昨年11月に全校児童で調べた身近な危険箇所や防災施設などの情報を、パソコンを使ってインターネット上の電子地図に入力した。

廣内教授(左)や学生の指導で電子地図に情報を入力する児童



児童は居住地域ごと1日3グループずつ取り組み、計103カ所

の情報を書き込んだ。危険箇所については「大雨が降ったら山から水が流れてくる」「崖の石が崩れているから危ない」などと説明を添えた。作業は、学校防災アドバイザーの廣内大助・信大教育学部教授と学生6人、電子地図を載せるサーバーを運営する名古屋市のNPO法人が指導。児童からは「知らない所に危険な場所があって驚いた」「インターネットの地図だと誰でも危険な場所が分かかって便利」との声が出ていた。17日は市教育委員会の関係者も視察した。

児童による防災マップ作りは、自らの命を守る力を育てる狙い。昨年12月には、調査で収集した危険箇所86カ所、防災施設130カ所などの情報を基に大型パネルの防災マップを作った。電子地図の情報は更新しながら地域との共有も考える。高橋秀明校長は「防災マップの作成は児童が危険に気付き防災への考えを深める手段。今後はマップを生かした学習計画を立てたい」と話していた。

## C. 全体・その他

日にち:2015年2月2日

場所/団体:DoChubu サイト



寒い日が続いていますね。昨秋から準備してきた当 NPO ホームページの大幅リニューアルは、1月10日にリニューアル公開したため、皆さんへお知らせします。

最大の変更点はポータルサイト、地域情報サイトにスライダーをやめ、写真をいかすレイアウトとしてみた点です。また、以前のサイトで読み込みが重いとの声を多く頂いていましたが、今回改善されたのではないのでしょうか。リニューアル担当はアイデアクラウド社、CMS は引き続き WordPress です。ぜひ新しい中部を知る入口に！

## B. つながるマップ

日にち:2015年2月10日

場所/団体:防災コンテスト



この時期恒例の防災コンテスト審査結果が発表されたため、お知らせします！

《e 防災マップ部門》

優秀賞:『星崎学区防災マップ』(星崎学区連絡協議会:会員様)・『子供たちと住民と一緒に考えた、常磐東学区の防災』(常磐東小学校:支援先)・『古和浦親子防災の会』(南伊勢町:支援先)・『ゆり起そう区民全員の防災・減災に対する心』(五ヶ丘第四自治区:支援先)

[http://www.bosai.go.jp/press/2014/pdf/20150206\\_01.pdf](http://www.bosai.go.jp/press/2014/pdf/20150206_01.pdf)

私たちが応援するエントリー団体は全て入賞！おめでとうございます！



## B. つながるマップ

日にち:2015年2月20日

場所/団体:つながるマップ研究会



2015年のつながるマップ研究会は、1回目を2月20日に開きました。

今回のゲスト講師は『NPO 法人防災支援ネットワーク』理事長、高木淳一氏。DIG など出前講座での良い事・悪い事、課題を語って頂きました。なかでも講座が一過性に終わる点は大きな課題で、私たちも同意見。情報はブラッシュアップしていくものと言う視点と、学校やコミュニティセンター、社協など地域構成員の多様な関わりが必要と思います。

## B. つながるマップ

日にち:2015年3月12日

場所/団体:五ヶ丘第四自治区



こんにちは！ご無沙汰しております。本年度も豊田市防災マップ作り支援は納品の時期を迎え、まず五ヶ丘第四自治区の納品準備が整いました。

そして週末は防災コンテスト2014表彰式・シンポジウム。今回は第3回国連世界防災会議の関連事業となり、会場も仙台です。受賞団体の方々はもちろん、当 NPO 事務局や情報会員、賛助会員が参加します。当日は午前中に表彰式が行われ、午後の地域コミュニティ向け公開シンポジウム「地域協働で実践する防災活動を学び、つなぐ」では、理事の古瀬が“地域への支援活動”を話す予定です。では、いってきます！

## B. つながるマップ

日にち:2015年3月14日

場所/団体:防災コンテスト



遅ればせながら防災コンテスト表彰式・シンポジウムの報告です！シンポジウム終了後、五ヶ丘第四自治区区長の榎木さんは、「皆様の熱意のこもった発表をお聞きして、自分の心に何か湧き上がるものを感じた。私の(地域防災に対する)考えを根底から変えてくれた」などと話していらっしゃいます。

## B. つながるマップ

日にち:2015年3月29日

場所/団体:緑陽コミュニティ



緑陽コミュニティで『千鳥津波避難所・千鳥健康交流の家』内覧会が29日に催され、事務局と一緒に招かれた星崎学区の早川氏と伺ってきました。

この新しい建物は、1～2階が健康・福祉系に対し3階～屋上は防災系で、行政側の担当セクションの壁を越えた運用が行われる施設です。また様々な工夫も見て取ることができ、例えば1階の壁は高潮や津波の衝撃が一定値を超えると外れ、建物フレームへのダメージを抑えるように設計されています。

特定非営利活動法人ドゥチュウブ

〒461-0004

名古屋市東区葵 2-11-22 名古屋ゼブラビル 403

TEL/FAX:052-325-6031

理事長:松井照幸